

授業概要

アメリカ文学史における小説を中心として、時代順にアメリカの成立から、同時多発テロ以後におけるまで、英語圏の様々な文学を作家に応じて巨視的に概観してゆく

授業計画

第 1 回	アメリカの誕生—その歴史と文化
第 2 回	アメリカ文学とは何か—コロンブスとインディアン
第 3 回	文学としてのインディアン捕囚体験記—ポカホンタスの物語
第 4 回	ゴシック小説の誕生—C・B・ブラウン
第 5 回	エドガー・アラン・ポー —「群衆の人」「マリー・ロジェの謎」
第 6 回	ナサニエル・ホーソーン—『緋文字』
第 7 回	ハーマン・メルヴィル—『白鯨』
第 8 回	アメリカ南部における黒人—『アンクルトムの小屋』『ハックルベリフィンの冒険』
第 9 回	カリブ海のクレオール文化—ラフカディオ・ハーン『ユーマ』
第 10 回	小説の洗練—ヘンリー・ジェイムズ
第 11 回	リアリズムと自然主義文学—ジャック・ロンドンとフランク・ノリス
第 12 回	ジャズエイジの文学—フィッツジェラルド『グレート・ギャッピー』
第 13 回	大衆小説の黄金時代—エドガー・ライス・バロウズ、H・P・ラヴクラフト
第 14 回	ノーベル賞とアメリカ文学—アーネスト・ヘミングウェイとジョン・スタインベック
第 15 回	現代文学—SF文学 新たな文学のゆくえ
第 16 回	定期試験

到達目標

アメリカ文学を中心に英語圏の文学を読むことで、英語が使われる地域の文化や歴史への理解を深め、中学校及び高等学校における外国語科の授業への教養養成の助けとする。

履修上の注意

言うまでもなく授業中の私語、睡眠は許されない。マナーを尊重して楽しい授業にしてゆきたいので、積極的な参加を望みたい。大量の資料を配布するのでファイルを持参のこと。

予習・復習

配布した資料は事前に予習として必ず読み、授業後に再び読み直してほしい。

評価方法

学期末試験（60%）、コメントペーパー（40%）などの総合評価。

テキスト

毎回授業で資料を配布、また参考文献については適宜指定する